

2026 年 7 月 23 日（木）第 20 回例会 【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

会長 諏訪 昭浩 / 幹事 伊藤 弘幸 / 広報委員長（会報担当） 谷口 公啓

例会場 おりづるタワー5F「凜」（広島市中区大手町 1-2-1）

会 長 時 間

（諏訪 昭浩 会長）

ロータリーは自己教育運動です。運営内規第 1 条の「広島新世代ロータリークラブの理念」に書かれているような人間になるよう、これをガイドラインに日々の自己教育に励んで下さい。

まず、体調不良のため本年度第 1 回目の例会を欠席してしまい、誠に申し訳ございませんでした。実は、会長不在の時は誰が代行するかはルールがありまして、これはクラブ細則にも書いてあるのですが、会長不在の時は副会長が代理を務めることになっていますので、覚えておいてください。

そもそも、実務上は会長が何もしなくてもクラブが回らないといけないわけです。クラブの管理運営は、基本は委員会の活動で、理事会があり、理事個人の動きがあり、それら全体像を把握して適切な指示調整を行うのが幹事の役割です。幹事は会長と密に連絡を取り、必要な準備や指示、根回しなどを行っていきます。クラブによってスタイルは異なりますが、大きく分けると 2 つで、幹事が案をまとめ会長がその承認しその通りに動くというパターンと、会長が案をまとめ幹事がその通りに動くというパターンです。

私がこれまで見聞きした範囲で申し上げると、幹事がキーパーソンになる前者のパターンが健全なクラブ運営の要になっているように思います。昨年度は創立年度でもあり、創立会長としての必要な言動が多々ありましたが、本来は会長が出しゃばるのはあまり関心できないわけで、でしゃばらなくてもいいように幹事が采配するのが健全な管理運営の在り方だと思いますし、当クラブはそうなってほしいと思っています。

先日、宇部西ロータリークラブさんで、ロータリーの本質について、卓話をしてきました。竹内幹事はロータリー歴がまだ 4 年の方ですが、当クラブの例会動画を全て見て勉強されたそうで、卓話者をご紹介いただくときに、あまりにも私がしゃべろうと思っていた内容と重なっていたので、苦勞しました。お話ししてみると、入会 4 年目にもかかわらず、ロータリーの基礎をしっかりと理解されていることがわかり、非常に頼もしく、また、金子会長を懸命に支えようとされている姿を見て、このクラブの発展を確信しました。

竹内幹事は私の卓話の動画を撮られていまして、新会員さんの研修に使うとのことでした。その彼からお礼のメールが来まして、当日の卓話の文字起こしを届けてくれました。もっとロータリーを学びたいのでいっしょに勉強会をしたいとおっしゃっていましたので、是非やりましょうとお答えしました。彼のような方には是非これからロータリーを正しく伝承していく役割を担っていただきたいものだと思います。



竹内幹事のことを皆さんにお話ししたのは、是非みなさんにも、早い内に、ロータリーの基礎を理解する努力をしていただきたいからです。何度も申し上げて恐縮なのですが、例会動画を何度も見返してください。また、本日お配りした情報誌を何度も読み返してください。色んな情報誌があるなかで、これは比較的よく書かれていると思います。この、ほんの少しの努力を、今やっておかれることで、今後のロータリー人生が大きく変わります。反対に、今やっておかないと、何十年ロータリアンでもロータリーがわからない、従ってロータリーから恩恵が享受できないという大変残念な時間とお金の無駄遣いになってしまいます。

この卓話のスク립トにご興味がある方はおっしゃっていただければメールいたします。

もう一つ、皆さんにお願いがあります。最初に申し上げた、運営内規第1条の「広島新世代ロータリークラブの理念」に賛同してください。ここには、他の会員への感謝の気持ちを忘れない、クラブや会員の評判を落とすような言動は慎む、これは除名対象になります。また、話して問題を解決する、こういったことが含まれています。この理念の元に全員が一丸となって、あかるく楽しいクラブにしていきたいものです。

そのために全力を尽くすことをお約束して、今日の会長時間を終わります。

幹 事 報 告

(伊藤 弘幸 幹事)

- ・「ロータリーの友」7月号、ガバナー月信を受付のカウンターに置いてありますのでまだ手元にお持ちでない方は持ち帰りください。
- ・三次ロータリクラブから創立 65 周年記念誌が届いていますので回覧します。
- ・2026 年度、呉阪急ホテルで開催されたインターシティー・ミーティングのプログラムが 13 部送られてきていますので必要な方は幹事に申し出てください。
- ・2026-2027 年度 呉南ロータリクラブの事業計画書が届いていますので皆さんに回覧します。
- ・令和 8 年 10 月 24（土）、25（日）に宇部で行われる地区大会の JR 新山口駅から会議場までのシャトルバスの案内を前回の例会において回覧していますが、資料をお持ちの方は幹事まで回してください。

出 席 報 告

(管理運営委員会 大上 進 会員)

区 分	内 容
本日の出席（リアル／オンライン）	1 3 名／2 名
出席率（7 月第 1 週）	100.0%

(管理運営委員会 大上 進 会員)

本日は2件でした。

杉岡英明会員	名札とバッジを忘れてしまいました。
北田稔将会員	五紅会（ゴルフ同好会）で優勝しました。

同 好 会 報 告

輪紅会 諏訪昭浩 会員

ロータリーに関する勉強会、輪紅会を作りました。本日例会後第一回例会後「敦煌」にて開催致します。今日の参加者は9名です。（オンライン参加の渡辺会員含む）

プ ロ グ ラ ム

各理事役員挨拶・各委員会（副）委員長挨拶

会長 諏訪昭浩 会員

本年度、2年目の会長を仰せつかりました。昨年度は創立会長として2つのことに心がけてきました。

ひとつは、当クラブの運営内規の最初に記載してある、「広島新世代ロータリークラブの理念」のもとに全員が心を一つにするために、ロータリーの理解に必要な情報を機会がある毎に徹底的にお伝えすることです。もうひとつは、その理念を永続的に伝承していけるようなクラブの屋台骨を作ること、クラブの管理運営の仕組みを確立させることです。

この2つのことは、今振り返って見ますと、両方とも十分ではなく、特に、2つめのクラブの管理運営の仕組みに関しては、この2年目は壊滅的な状態からのスタートだと認識しています。すべて会長のリーダーシップの欠如から来るものと深く反省しています。

そうは言いながら、これをやり遂げて会長の任を終えるのが、創立会長の役割だと認識していますので、今年度は、方法を変え、とにかく目的を達成できるよう、なりふりかまわずやっていく所存です。

そういうわけで、前年度に引き続き今年度も、クラブの管理運営が混乱する場面もあるかと思いますが、どうか会員の皆様には、ロータリーの寛容の精神でお許しいただき、今少しのご猶予をいただきますよう、心からお願い申し上げます。

また、1つ目に申し上げた、「広島新世代ロータリークラブの理念」に関しては、他クラブからも独特であると注目されており、創立会長としてこれを提唱したことは誤りではなかったと思っています。また、この理念は、当クラブが他クラブとどこが異なるのかを明確に表現しており、これがあるからこそ、これを胸に活動するロータリアンが会員だからこそ、当クラブの存在意義があるのだと確信しています。

会員の皆様におかれましては、今一度この理念をお読みいただき、日々の自己教育の指針としていただくよう、強く要請いたします。

今年1年、どうぞよろしくお願い申し上げます。以上、会長の就任挨拶といたします。

副会長 谷口公啓 会員

皆さま、こんばんは。このたび、2026-2027 年度の副会長を拝命いたしました、谷口公啓でございます。諏訪会長のもと、一年間務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

副会長の任務は、クラブ細則第4条第4節に定めるとおり、会長が不在の場合に、例会および理事会の会合において議長を務めることでございます。平素は前に出る役ではなく、会長を支え、クラブの運営が滞りなく進むよう後ろから支える役目であると理解しております。理事会の一員として、定款・細則・運営内規に沿った、透明で健全なクラブ運営に努めてまいります。

就任にあたり改めて心に置いておりますのは、運営内規第1条に掲げられた当クラブの理念でございます。ロータリーの人間関係の基本は平等であり、年齢や社会的地位、性別に関わらず、会員同士は「～さん」付けで呼び合う。問題が生じたときには悪口・陰口をたたかず、当事者同士がざっくばらんに話し合っ
て融和的に解決する。相手を許す寛容の精神をもって、和気藹々とした親睦を育む。この文化こそが当クラブの何よりの財産であり、副会長として大切に守ってまいりたいと考えております。

また当クラブは、五大奉仕部門のうち、例会とクラブ運営を健全に行う「クラブ奉仕」と、次代を担う青少年を育成する「青少年奉仕」を特に重視し、被爆都市広島に位置するクラブとして、世界平和の実現に寄与する活動を重んじているのは皆様ご存知の通りなのですが、その上でもう一点、申し添えたいことがございます。この「奉仕」という言葉は、ボランティアを意味するものではありません。英語では「Service」であり、現代的で分かりやすい日本語にするなら「貢献」のほうが理解しやすいのではないかと、個人的には思っております。つまり職業奉仕は、自らの職業を高潔なものとし、その手腕をもって社会に貢献すること。クラブ奉仕は、当クラブの運営に貢献すること。青少年奉仕は、青少年が自ら力を発揮できるよう後押しすることです。

ロータリー運動の基本は良いロータリアンになるための自己教育にあると内規は説いておりますが、まだ学ぶべきことの多い一人の会員として自らを磨きながら、クラブの活動に限らず日常生活全般において、まず日本社会に、そして世界に対して正しく貢献してまいりたいと考えております。

至らぬ点も多いかと存じますが、会員の皆さまのお力添えをいただきながら、一年間、精一杯務めてまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます

幹事 伊藤弘幸 会員

幹事就任のご挨拶を頂きました。

会計理事 福本博之 会員

会計理事就任のご挨拶を頂きました。

管理運営委員会 副委員長 山本博正 会員

管理運営委員会 副委員長就任のご挨拶を頂きました。

成長支援委員会 副委員長 榎下賢 会員

成長支援委員会 副委員長就任のご挨拶を頂きました。

広報委員会 副委員長 北田稔将 会員

皆様、こんにちは。このたび広報委員会の副委員長を拝命いたしました、北田稔将でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本委員会は、委員長を谷口さん、委員を大上さん、木坂さんにお務めいただいております。私以外の三名は他の役職との兼務でございますので、日々の実務につきましては、副委員長である私が責任をもって推進役を担ってまいります。本年度の活動方針は、「デジタルとリアル融合による『見える化』の推進と会員価値の創造 ― そして『平和都市・広島』からの国際的発信」でございます。柱は三つございます。

第一に、ウェブサイト戦略です。会員専用サイトをシステム化し、各種アーカイブやマニュアル・議事録をデジタル化してまいります。会員相互の理解を深めるとともに、クラブの経験を「学びの資産」として蓄積し、あわせてペーパーレス化を進めます。一般公開サイトにつきましては、活動ブログの定期更新とSEO、そして「入会案内・見学申込」への導線を強化いたします。

第二に、メディア・地域連携です。プレスリリースを年二回以上発行し、オープン例会等のご案内もデジタル化して、SNSでの発信・紹介に活かしてまいります。

第三に、まだ構想段階ですが他の委員会とも連携して新規事業「Peace Make-up in Hiroshima プロジェクト」を立ち上げたいと思っています。原爆ドーム至近のおりづるタワーで例会を開くという、当クラブならではの立地優位性を活かし、世界から広島を訪れるロータリアンをメイクアップにお迎えする、という取り組みです。メイクアップいただいた方へ「Hiroshima Peace Make-up Certificate」（メイクアップ証明書）をお渡しするところまで、英語で一気通貫のご案内を整えてまいります。当クラブを「平和都市・広島を象徴するロータリー国際交流拠点」として位置づける、その第一歩にしたいと考えております。

これらを通じて目指しますのは、特に三十代から五十代の現役世代の皆様には「時間対効果」と「ビジネスと社会貢献の親和性」を広報し、認知度の向上を図って会員増強へとつなげることでございます。もちろん、現会員の皆様がクラブへの所属を誇りに感じていただけるよう、内部の結束と満足度を高めることにもつなげてまいります。

最後に、皆様にお願いがございます。広報の材料は、会員お一人おひとりの活動の中にこそございます。例会や奉仕活動の場で「これは残しておきたい」と思われる場面がありましたら、お写真一枚、ひと言のコメントでも結構ですので、ぜひ広報委員会までお寄せください。

皆様のお力添えをいただきながら、広島から世界へ、当クラブの活動を発信してまいります。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ロータリー財団委員会 副委員長 坂本純一 会員

ロータリー財団委員会 副委員長就任のご挨拶を頂きました。

会員増強委員会 委員長 渡辺郁 会員

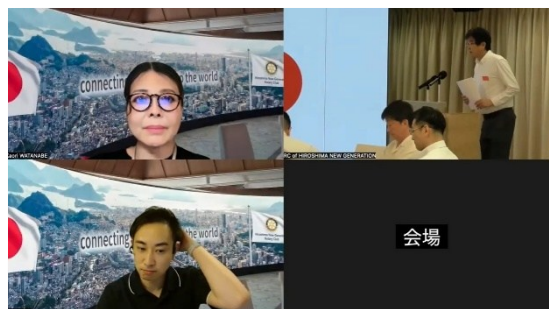
会員増強委員会 委員長就任のご挨拶を頂きました。

奉仕プロジェクト委員会 副委員長 杉岡英明 会員

奉仕プロジェクト委員会 副委員長就任のご挨拶を頂きました。

戦略計画委員会 副委員長 福本博之 会員

戦略計画委員会 副委員長就任のご挨拶を頂きました。



— 以 上 —